最上位目標　　「子どもの Well-being の実現」
学校教育目標　「心豊かに、自他を高め、章を成す」
～変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する～

SEISHO PRESS

Trying for your dreams

佐賀市立成章中学校
学校だより　第１３号
令和８年１１月１７日
文責　校長　馬郡直樹

文化発表会開催　生徒が主役の成章中へ　～感動の文化発表会～

１０月３０日（金）文化発表会・合唱コンクールを開催しました。

今年は、台風による臨時休業のため、例年よりさらに短い準備期間の中での開催となりました。しかし、生徒たちはその逆境を感じさせないほど、どの作品も非常にクオリティが高く、見る者の心を強く揺さぶるものばかりでした。

画像は配布した通信でご確認ください。

３年生制作のモザイクアート

昨年度の文化発表会は授業の成果発表を柱として開催しましたが、生徒会役員と事前協議を行い、今年度は学習の成果発表だけでなく、生徒の主体的な活動を発表の柱とするよう舵を切りました。限られた時間の中でも、教師からの手助けを受けながら、自分たちで創り上げた作品はどれも輝いていました。特に、学年劇や合唱においては、普段の学校生活ではあまり見ることができない生徒のきらりと輝く一面を見ることができ、「この生徒挑戦している」と感じられる場面がいくつもあり、とても頼もしく感じました。今後は、学校行事だけでなく、学校の方向性を自分たちで決めていく「生徒が主役の成章中学校」を、さらに力強く推し進めてほしいと願っています。

また、合唱コンクールでは、学年が上がるにつれて美しさを増すハーモニーが体育館中に響き渡りました。審査は優劣をつけるのが本当に難しく、どのクラスにも金賞を授けたいほどの素晴らしい出来栄えでした。

本番前の緊張感、歌い終えた瞬間の安堵の表情や、仲間同士のハイタッチ。そして、表彰式ではどのクラスに向けても大きな拍手が送られ、会場全体が温かな雰囲気に包まれました。生徒たちの成長と最高の絆を実感できた、忘れられない文化発表会となりました。

３年生の感想は、「役者の大変さを知ることができた。新しいことに挑戦することは恥ずかしさを感じたり勇気が必要になるが、新しい発見や新しい感情になるので、挑戦することは大切だとあらためて思った」「合唱コンクールは結果が全てではなく、それまでのみんなとのチームワークや協力といった過程が一番大切だとわかった」「卒業前にクラスのみんなと協力して一つのことを成し遂げられてとてもうれしかった」です。

🚫🚙交通安全教室開催🚙🚫

１１月１３日（金）、スタントマンによる交通安全教室「スケアードストレイト」を実施しました。自転車と自動車の衝突など、交通事故の様子を迫力ある実演で再現していただきました。事故の瞬間を目の前で見た生徒たちは、その恐ろしさを感じながら、真剣な表情で見入っていました。交通事故は誰にでも起こり得るものです。自分の命を守るために、交通ルールを守ることはもちろん、周囲の状況をよく確認し、危険を予測して行動することの大切さを学ぶ機会となりました。

画像は配布した通信でご確認ください。

生徒の感想は、「この前、事故ギリギリになったばかりだったので、余計に身近に感じることができました。自分も自転車の乗り方を振り返り、家族にも友達にも事故にあってほしくないので、みんな気を付けてほしいです。私も気を付けたいです」

１１月 全校朝会 「吾以外皆師也」

11 月 10 日（火）に全校朝会を開催しました。「校長が読んだ図書館の本」は池江璃花子さんの「もう一度、泳ぐ」です。池江さんは、日本のトップスイマーです。18 歳の時に急性リンパ性白血病を発症しましたが、見事復活を果しました。メンタルの整え方や物事の考え方は非常に参考になりました。

校長の話では、自分自身を成長させるために、日ごろから大切にしていることや言葉について話をしました。以下内容の要約です。

私が自分自身を成長させるために大切にしている言葉は、「我以外皆師也」。自分以外のすべての人が、自分に何かを教えてくれる先生であるという意味である。私は、先生たちからや生徒の皆さんからも日々学んでいる。生徒の皆さんから最近学び、私も生活の中に取り入れていること二つ紹介。

① ある人はいつも笑顔付きでの挨拶・声かけてしてくれ、晴れやかな気持ちや「がんばろう」と励まされた気持ちになります。私もそんな周囲を明るくする人になりたいと思う。

② こちらから声をかけると「ありがとうございます」と返してくれる人。生徒同士の何気ないやり取りの中でも「ありがとう」の言葉をよく耳にする。私の方こそ「ありがとう」！

次に、ある先生から学んだことを一つ紹介する。

① ある先生は、電話の見えない相手に対して頭を下げながら電話で話をしている。電話を切る時には、受話器を直接置くのではなく、ボタンをそっと指で押した後に受話器を置いていた。電話の相手にはこのような丁寧な態度は直接見えないが、この先生の謙虚さ・丁寧さを見習いたい。

さらに、「成功者から学ぶ」ことも心掛けている。一流選手の考え方などをとても興味がある。

今日紹介する「成功者」は、競泳の池江璃花子さん。池江さんは、１８歳のときに急性リンパ性白血病と診断されたが、発症から約１年半後にプールに戻り、東京オリンピックの代表に選ばれた。池江さんは、「コーチの言っていることがすべてではない」ということを述べています。コーチの言葉を大切にしながらも、最後は自分で考え工夫し、自分にあった方法を見つけることが大切であるということ。

また、「メンタルに波を作らない」という考え方も大切にしている。ネガティブな考え方を正して、やるべきことに集中し、できるだけ心の状態を安定させることが大事ということ

まとめ。成功者から学ぶことも、生徒や先生から学ぶことも、根本は同じであり、相手のよいところに気付き、それを自分の成長につなげるということ。人のよいところを見つけてみて、そして、「自分もこうしてみよう」と思ったことを一つでも実行に移し自分を高めてほしい。

新規採用教職員代表授業　～先生たちも頑張っています～

１１月９日（月）に今年度新規採用された先生達（２２人）の代表授業が成章中学校で行われました。授業者は、数学科の辻日菜歌教諭です。授業は、比例と反比例の単元で行われ、ポップコーンを買うまでにかかる時間を並んでいる人数と待ち時間の関係を比例とみなして予想するものでした。

画像は配布した通信でご確認ください。

授業の様子＝１年３組

１年３組の生徒も辻先生も少し緊張気味で授業がスタートしました。しかし、授業が進むにつれて徐々に意見交換も活発になり、生徒にとっても、新規採用の先生方にとっても実り多い授業になったと思います。このような経験を積みながら、教師としての技量を高め、生徒の学力向上に貢献していきます。

授業者の辻先生の感想は「今回、初任者研修の代表授業を経験させていただきました。授業を迎えるにあたり、不安もありましたが、多くの先生方から助言や励ましの言葉をいただき、また、生徒たちからも応援の言葉をもらい、とても心強く感じました。今回の授業を通して見えてきた課題や学んだことを、これからの授業作りや日々の指導に生かし、さらに成長していきたいと思います。」でした。